

いう例が1つあります。それは1990年の湾岸戦争ですよ。

僕ね、湾岸戦争の時イスラエルにおったんです。湾岸戦争の時の首相がシャミールですよ。僕はシャミール首相に、引退してからですが2回単独インタビューしました。その時のことも質問して、よく覚えてるんですよ。

湾岸戦争は、独裁者のサダム・フセインが君臨していたイラクがクエートを呑み込んで、たったの6時間半で地図から中東の国が1つ消えたんですよ。クエートは石油の上に浮かんでいる国と言われていた。北海油田は深い所を掘らないとダメですが、クエートの油田は、蓋を開けたら噴き上げて来るような油田です。イラクも石油は採れますが、石油大国であるクエートを呑み込んだ。クエートはイラクに50億ドルもの大金を貸し付けていたので、チャラにしておうと思ったんでしょうねえ。

つまり湾岸戦争とは、アラブの強い国がアラブの弱い国を呑み込んだんです。それまで、中東戦争はイスラエルとアラブの戦争、というのがみんなの頭の中にピシャッと入っている。だけど湾岸戦争は、アラブの国がアラブの国を踏み潰して、バーストというイデオロギーの中で1つになっていくというのがあった。

しかし、さすがにこれは、クエートの隣の国がびびって、何とかしてくれ！と。隣にあるのはサウジアラビアですよ。それでサウジアラビアは米軍に、ウチに入ってきていいからと言って。サウジアラビアはイスラム原理主義の国ですよ。米軍の兵士の中には女性がいます。中東の炎天下でタンクトップや肌を見せている女性兵士が、メッカメディナがあるアラビア半島に上陸していいんですか？いいんです！今はそんなこと言ってる場合じゃないから。上陸させたんですね。

そうして戦争が始まっていくんですが、イラクはクエートと戦争しているんですよ。サダム・フセインはクエートの背後にいる有志連合+アメリカと戦おうとしてたんですが、その時、イスラエルにスカットミサイルを50数発撃ち込んだんです。なんで、何の関係もないイスラエルに撃ち込むん？

イスラエルの安全保障の優先順位は高いので、撃ち込まれたら必ずやり返すだろう。やり返したら、アラブ対イスラエルの戦争に転換できると考えたんですね。今はアラブ対アラブの戦争で、ほかのアラブの国々は「やり過ぎだぞ！」と批判してますが、アラブ対イスラエルになったら、その当時イスラエル側に付けますか？この戦争の性質を転換させるために、敢えて50数発撃ち込んだんですね。

イスラエルはどうしたか。全くの無抵抗。1発も返しませんでした。その時イスラエルにいた人には、外国人にも防毒マスクを配ったんです。観光客はほとんどいなかったけど。こんな時観光に行くと、並ばずに入れます。1発も返さなかったのが、アラブ対イスラエルに転換することはなかったんですが、戦争後に請求しましたね。「我々は我慢した。理不尽な攻撃を受けていながら。」

その時のアメリカはブッシュ政権ですよ。息子の方。

「被害を受けたイスラエル国民に補償金を出してくれ。そして、最新鋭のF15 戦闘機 10 機をタダで引き渡してくれ。それから、飛んで来るミサイルをやっつけるためのアローミサイルに必要なミサイルを与えてくれ。」
相当額の要求をしたけど、アメリカはそれ、呑みましたね。

ということは、今回イスラエルはやられた。しかし、やり返さなかった。しなかった場合、タダでしないのはあり得ないですよ。当然見返りがある。何をもらうんですか？…それは、天満橋倶楽部で申し上げたいと思います。

今回のことですごいなと思ったのは、まずシャハドという自爆型無人ドローンを170 機送り、次に巡航ミサイル、そして弾道ミサイル。
このやり方は、今ロシア軍がウクライナにやっているのと同じなんです。シャハドはスピード出ません。爆弾を投下するんじゃなくて、爆弾を積んだまま突っ込んで行く。低空・低速なので、撃ち落とすための防空ミサイルを発射します。防空ミサイル基地は隠されているのに、発射によって位置がばれてしまうんです。つまり、おとり。シャハドを撃ち込んで防空ミサイル基地を見つけた上で、巡航ミサイルでその基地を叩き、その後弾道ミサイル。

巡航ミサイルはスピード遅いけど正確。山があれば山に沿って飛んで行く。ナビゲートを受けながら飛んで行く。弾道ミサイルはドーンと撃って着弾するので、精度はないけどスピードははるかに速い。スピードが早いと撃ち落とすのが難しい。ロシアはこのやり方で、シャハド、巡航ミサイル、弾道ミサイルを使って、ウクライナの発電所やインフラ設備・ダムをぼこぼこに叩いているじゃないですか。イランはそれをやろうとした。ところが 99%撃ち落とされた。なんで？

ロシアが上手くいっているのは、ロシアの弾道ミサイルはロシア純正です。しかし、イランが使った弾道ミサイルは北朝鮮製。飛距離を延ばすためにイランの技術で改良したと言われてますが、打ち上げてイラン領内に落ちたのが 2 割くらいあると。要するにポンコツ。

何を言いたいかというと、ロシアが他国を侵略する時に使った手法と同じことをしている。それはどんな意味があるのかを考えていただきたい。
ロシア軍とイラン軍が同盟国化しているということなんです。別々の軍隊じゃない。それぞれ独立国家の軍隊なのに、攻撃目標を攻略する時に、ロシアのセオリーをそのまま使っている。

純正品じゃなかったから上手くいかないことはあっても、ロシアとイランが足並み揃えて共同作戦が取れるような状況が、今出来上がりつつあるんです。イランも国産の巡航ミサイル持ってますよ。でも、250 キロくらいしか飛ばない。イランとイスラエルは 2000 キロ離れてます。どうやって届かせるんですか？
ロシア製のを買ってるんですよ。

エゼキエル書 38 章で、マゴグと呼ばれるロシアが、やがてイランと一緒にイスラ

エルに入って来る。トルコも一緒に。1つの戦争目標のために多国籍軍として入って来るんですが、指揮系統はどうなるのか。

いちにの三で初めてやるなら、難しいんじゃないですか。

でも、エゼキエル戦争の手前で経験を積み上げて行くなら、どうなりますか？

今回のイランのドローン・ミサイル複合攻撃は、エゼキエル戦争のパズルがまた1つ揃ったんじゃないかなと。私たちは終末時代に生かされていることを、改めて痛感しました。

終末預言を考えた時、旧約聖書の終末預言は、やはりダニエル書なんです。

旧約の黙示録と言われているんですね。ダニエル書、エゼキエル書、イザヤ書、ほかにも色々ありますが。

ダニエル書9章後半に**70週の預言**というのが出て来て、終末までのプログラムのスケジュール表みたいになってるんですよ。今日は時間がなくてそこには行けないので、そこに行くまでの部分をざっくりご紹介します。

ダニエル書9章をいつ書いたのか。その年代をダニエル自身が明らかにしています。

1メディア族のクセルクセスの子ダレイオスが、カルデア人の国（バビロニア帝国／バビロン）の王となったその元年、

これはBC539年です。世界史的にも、大きな事件がいくつもあった年なんですね。メディア族のクセルクセスの子ダレイオスは、既にダニエル書に何回も出てます。ダニエルが神を拜んでいるので、本意じゃなかったけど行きがかり上、ダニエルをライオンがたくさんいる穴の中に行かせた王がダレイオス。バビロンで一番有名な王は、ネブカドネツアル王でしたね。

バビロンが滅んだのがBC539年なんです。それまでオリエント世界を支配していたバビロンが遂に潰れた。ベルシャツアル王が宴会している真最中に指が出て来て、「メネ・メネ・テケル・パルシン」。そして、メディア・ペルシア合同軍によって一夜にして滅びました。

メディア・ペルシア帝国合同軍のトップがキュロス王です。

キュロス王が“王の王”で、今は大帝国内のシュシャンにいます。

彼は自分のおじさんに当たるダレイオスを、日本でいうと知事かな、メド・ペルシア帝国バビロニア州の王にしたんですね。

だから、王と書いてあるけど、ダレイオスの上にもっとすごい王様がいる。それがキュロス大王です。「おじさん、バビロンはあなたにお任せします」ということで、ダレイオスが、カルデア人の国の王となったその元年がBC539年。

ここから200年間、アケメネス朝ペルシアの時代が始まります。

今までのバビロンと打って変わって、ペルシアの時代は非常に寛容な時代だった。このペルシアが今のイランですよ。

2すなわち、その治世の第一年（BC539年）に、私ダニエルは、預言者エレミヤにあった主のことばによって、エルサレムの荒廃の期間が満ちるまでの年数が七十年であることを、文書によって悟った。

預言者エレミヤにあった主のことば。エレミヤとダニエルは同時代の預言者です。もちろんエレミヤの方が年上ですよ。ダニエルがこの9章を書いている時、エレミヤは既に殉教しています。聖書にはそのような記述はありませんが、伝承によると、エジプトで国粹主義のユダヤ人たちから嫌われて憎まれて、石打ちで処刑された。

なぜ処刑されたのか。国粹主義者の立場から見ると、エレミヤの預言の内容は不吉なことばかりなんです。こんなことしてたら国が亡びる、早くバビロンに降参した方がいい、降参しなければ捕虜となって国が無くなる、この神殿が炎上するなど、口クなこと言わない。エレミヤは嫌われ者です。彼自身は愛国者ですが、当時の人たちはそれが分からなかった。それで、石打ちで殺されました。

しかし、時代とともに、エレミヤが言ったことが次々実現していきます。やがてユダヤ人の中で、エレミヤが書き残した**エレミヤ書**は聖書だと認められるようになりました。

実は、エレミヤ書は一度、王によってナイフでビリビリに裂かれ、火にくべられて失われたんです。それでもう一度、一から書き直したという。その預言書が、おそらく9章を書く少し前に、ダニエルの手に入ったのではないか。ダニエルは信仰者ですよ。もう端から端まで、隅から隅まで、ずっと聖書を読み続けて研究している人。

でも、この段階で分かったということは、前々からエレミヤ書が手元にあったのではなく、色んな経路を経て、エレミヤ書の写本が遂にダニエルの手元に来た。その写本を読んだ結果、捕囚は永遠ではなく、70年限定だと分かったんです。

エレミヤ書 29 章

10 まことに、主はこう言われる。「バビロンに七十年が満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにいつくしみの約束を果たして、あなたがたをこの場所（約束の地／エレッツ イスラエル）に帰らせる。」

はっきり書いてある。バビロンに捕囚されるけど、それは永遠に続かない。バビロンに七十年が満ちるころ（捕囚期間が70年経ったら）、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにいつくしみの約束を果たして、あなたがたをこの場所（約束の地／エレッツ イスラエル）に帰らせる。捕囚の者が元の場所に戻るという希望の約束。ダニエルはこれを発見した。

ダニエル書 9 章

2 すなわち、その治世の第一年（BC539年）に、私ダニエルは、預言者エレミヤ

にあった主のことばによって、エルサレムの荒廃の期間が満ちるまでの年数が七十年であることを、文書によって悟った。

文書はヘブライ語でセファリーム。複数形です。

つまり**エレミヤ書**だけじゃなく、エレミヤ書以外の旧約聖書も含めて悟っていく。彼は預言者だけど、聖書研究によって時代を読んでいくことを導かれたんですね。今の時代、預言者を名乗る人がポコポコポコ出て来るじゃないですか。聖書に明確に書いてあることを、ほかの方法で再度語ることはないと思いますよ。

「**ざっくりダニエル書**」はざっくりだから細かいことは見ないけど、特に旧約聖書を見る機会って少なくないですか？小預言書を1節ずつ学ぶ機会はあるかないか。僕は小さな会で小預言書をやってますが、終末預言の理解は小預言書ですよ。小預言書に、隠れている／外れている鎖の輪っかがたくさんあるんです。

では、セファリーム／複数の文書は何か。1つは多分**イザヤ書**です。

イザヤ書 44 章

28 キュロスについては「彼はわたしの牧者。わたしの望むことをすべて成し遂げる」と言う。エルサレムについては「再建される。神殿はその基が据えられる」と言う。

キュロス王がエルサレム再建を宣言してくれるという預言ですが、これはキュロスが出て来る 150 年前の話なんです。

イザヤ書 45 章

1 主は、油注がれた者キュロスについてこう言われる。「わたしは彼の右手を握り、彼の前に諸国を下らせ、王たちの腰の帯を解き、彼の前に扉を開いて、その門を閉じさせないようにする。」

キュロス王がバビロンを陥落しましたね。バビロンの二重城壁の中をユーフラテス川が流れていて、城壁の中には 28 年分の食糧備蓄がありました。以前イラストでお見せしましたね。難攻不落で、だれも落とすことはできないと思われていた。ところが、キュロス王は運河を別に掘ってユーフラテス川の流れを変え、涸れ川にしたんです。涸れているので川底が見える。それでズカズカ入って行けたんです。彼の前に扉を開いて、その門を閉じさせないようにする。バビロンは宴会の真っ最中で鍵を開けていたので、あっさり陥落したんですね。

キュロス王がバビロンに入って来た時、ダニエルはどこにいたでしょう。バビロンにいたんです。

ダニエル書 1 章

21 **ダニエルはキュロス王の元年までそこにいた。**

キュロス王の元年、バビロンが滅んだ年と重なります。

バビロンが滅ぼされて、キュロス王の元年になるんです。ダニエルはそこにいた。つまり、キュロス王とダニエルは直に会ってるんですよ。直に会った時、ダニエルはどうしたと思いますか？多分キュロス王に、彼の名前が書いてある**イザヤ書**を持って行ったと思います。「王よ。あなたが来られることは、私たちには分かっていました。150年前に、イザヤという人物があなたのことを預言していたのですから。」それで、キュロス王がユダヤ人に好意を持ったのは当然だと思います。

ダニエルはキュロス王のことを書いた**イザヤ書・エレミヤ書・申命記**など色々見ながら、深く考えさせられていきます。ダニエルがバビロンに捕囚されたのはBC605年。今はBC539年。捕囚されてから70年でそれが終わる。ユダヤ暦に換算して紀元前で数字に置き換えると、BC539年は67年目。あと3年で成就する。もうカウントダウンに入ってるんですよ。神の70年預言がもう目の前で実現する。その歴史の目撃者として、自分が今ここに立っている。遂に70年の期間を終えて、自分たちが元に帰るように神がしてください。ですがその時、人間の側でも、しなければならないことがあるんです。

エレミヤ書 29 章

10 まことに、主はこう言われる。「バビロンに七十年が満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにいつくしみの約束を果たして、あなたがたをこの場所に帰らせる。」

11 わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている。__主のことば__。それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

12 あなたがたがわたしに呼びかけ、来て、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに耳を傾ける。

13 あなたがたがわたしを捜し求めるとき、心を尽くしてわたしを求めると、わたしを見つける。

14a わたしはあなたがたに見出される__主のことば__。わたしは、あなたがたを元どおりにする。」

70年の捕囚期間が終わった後に何があるのか。平安を与える計画が待っている。神が平安を与える素晴らしい計画と言う時、ユダヤ人預言者、いや普通のユダヤ人としてイメージするのは**メシア的王国**です。新約聖書では**千年王国**。おそらくダニエルは、70年の捕囚期間が終わったら、いきなりメシア的王国が来ると期待したと思います。

しかし、メシア的王国ができるためには、ユダヤ人が神を捜し求めて、神の前に罪を悔い改め、打ち砕かれ、神を呼び求める必要があるんです。聖書の至るところにそれが書いてある。ここでもそうです。「あなたがたがわたしに呼びかけ、来て、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに耳を傾ける（わたしはそれを聞く）。」

申命記にも、「あなたがたが地の果てに散らされても、悔いてわたしの前に戻って来るなら、わたしはそれを聞く。」

メシア的王国が来る条件は、ユダヤ人が民族的に悔い改めることです。

なので、イエスは公生涯のスタートで言われたんです。

「悔い改めなさい。御国が近づいたから。」

御国が実現するためには、ユダヤ人が悔い改める必要があります。

だけど、悔い改めるのに3年しかない。今バビロンに住んでいるユダヤ人たちは、神を迎え入れるような霊的な心の準備ができていないか？見渡した時、絶望的だった。その時、ダニエルは「まず私から始めよう」と言って、主の前に悔い改めの祈りを献げていったんですね。この祈りについて、大急ぎでポイントを説明します。

ダニエル書9章

3そこで私は、顔を神である主に向けて断食をし、粗布（あらぬの）をまとい、灰をかぶり、祈りと哀願をもって主を求めた。

断食・粗布・灰は悔い改めの3セット。

旧約聖書で悔い改める態度を神に表明する時、この3つを伴うことが多いんです。

悔い改めの祈りをする時最も大事なことは、神をどのような方と見るかなんです。神に近づいたり祈ったりする時に最も大事なことは、願い事の内容よりも、自分が呼びかけている神様と自分との関係性です。

何か相談する時、相談しやすい人としにくい人がいませんか？

本当のことを打ち明けやすい人と打ち明けにくい人。

良い関係ができていたら、本当のことを言えるんじゃないですか？

でも、何か恐ろしいだけの存在なら、自分の弱点を掴まれるだけだから言えない。

何か月か前のある集会に招かれた時、わざわざ北海道から、飛行機に乗って会いに来てくださった40代の女性がいました。彼女のお母さんはエホバの証人。

エホバの証人は世の中のお祝い事を一切否定する。それを幼い時から叩き込まれているので、国歌斉唱も校歌を歌うのも、誕生パーティーなんてもってのほか。

すべての格闘系がダメなので運動会の棒倒しはダメ。私なんかMMAとボクシングが大好きだから、もう笑いますわ。怒られるけど。

一番ショックだったのは、母の日にお小遣いを貯めてお母さんにカーネーションを渡したら、叩き落されたこと。「何てことしてくれるの！」

母の日をお祝いするのもダメなんです。10歳の女の子がお母さんを想って、お小遣いを貯めて渡したカーネーションを叩き落された時の気持ち、分かりますか？

彼女にとって、神は全知全能の目で人の欠点のあら捜しをし、震え上がらせ、窮屈にし、叱り、追い詰める方。

神が追い詰める存在なら、だれが神に祈りたいと思うだろう。だれが神のところに帰りたと思うだろう。逃げたいとは思っても、帰りたと思うことはないんじゃないですか？

私、ネコとか赤ちゃんのYouTube 見出したら止まらないんですけど、アメリカの動画で、赤ちゃんが病院で予防注射を受けるんですよ。生まれて初めての予防注射やから、痛いことを学習してない。全く無防備。ナースがブチュってやったら「ん？…痛いやんか！」ギャー泣くんですが、お父さんがナースから赤ちゃんを引き取って、ぎゅっぎゅって頬ずりすると2秒で泣き止むんです。400万回再生。いやあ、父っていいなあ。父の愛。お菓子あげなくても、頬ずりするだけで、泣いている赤ちゃんが父の愛で満たされて泣き止む。父に父性愛を与えた根源は父なる神です。天の父なる神は憐れみ深い方です。

ダニエルはこう祈りました。

4b「ああ、私の主、大いなる恐るべき（権威ある）神。あなたを愛し、あなたの命令を守る者には、契約を守って恵みを下さる方。」

悔い改めたら、かつてどんな酷い罪を犯していたとしても恵みを下さる、という契約があるんです。その契約に基づいて祈ってますね。

彼はなぜ祈る勇気を持っていたのか。契約を守って恵みを下さる方として、イスラエルの神を捉えていたからです。

「聖書の神は終末論の神で恐ろしい。怖い。」いやいや。義に対する怒りは何よりも激しい。でも同時に、神の愛は何よりも深いんです。

あなたにも、キリストによる新しい契約を守って恵みを与えてくださる方。

だから、クリスチャンも祈る時「神様！」と言う前に、神はどんな方なのか、どんなに気前よく恵み深い方なのかということイメージしてから祈ると、ちょっと近づきやすくなるんじゃないかなと思いました。

そして、神の前に罪の告白をします。罪の告白について3つ考えたいと思います。

5 私たちは罪ある者で不義をなし、悪を行って逆らい、あなたの命令と定めから外れました。

ここに罪のことばが5つ出て来ます。罪ある者の罪はヘブライ語でハタヌー。

不義はアビヌー。悪はヒトシャヌー。逆らうはマラドヌー。外れたはソール。

これ知っただけでは、何の意味もないんですけどね。

ハタヌーには**失敗・的外れ**の意味があります。**的外れ**のイメージは、的が3時の方向にあるのに、3時20分の方向に撃ってしまったので当たらなかったという**的外れ**。だけど、ここでの**的外れ**は、**的に届かない**という意味なんです。

的が100m先にあるけど2mしか飛ばない。それも**的**を外してるんですが、**的に**ピントさえ合えば届いていたというのではなく、はるか手前でもう論外ですという。つまり、神の基準の前で、良いことを行う実力はゼロです。神の前に全く不足している者です。足りない者です。

実は**罪**が分からない1つの理由は、自分に対する買いかぶりです。オレ出来るという根拠のない自信。でも、神の基準の前に、これいいなあと思ってもすることがで

きない。どころか、自分自身の良い決心も、時と場合によってはできない。

私は十数年前に、最初の妻を癌で亡くしました。彼女はホスピスに入院していて、毎日のように子供たちを車に乗せて会わせて帰る。

召される5日前、その日も2往復しました。昼間は私が行って色んなことをやって戻り、放課後に子供たちを乗せて行って、病室で何時間か過ごして、また家に帰る。家に帰る時、彼女が「ああ、楽しかった」と言ったので、「うん。後でまた来るから待ってて」と言って、子供たちを連れて帰ったんです。

ところが家に着いた時、もう疲れて。看病生活と色んなことで疲れて、起きる気力がないんですね。そのまま寝てしまった。それは、起きるつもりなのに睡魔に負けて寝てしまったというのではなく、意識の中で「もう今日はいいわ」と。行けなかったというより行かなかった。

翌朝目が覚めた時、自分に対する嫌悪感というか、なんちゅう男やと、ほとんど自分が嫌になりました。大切な人に約束しておきながら。

「しんどいけど行くぞ」と言ってバタッと倒れたんじゃなく、「もういい。もう勘弁してくれよ」みたいな思いが自分の中であって。

神の基準に達しないどころか、自分で決めた基準にも到達できない。

絶好調の時にはできることもあるでしょう。でも人間って、そんな良いものじゃないです。ダニエルは「神の基準にはるかに不足している者です」と言いました。

「我々ユダヤ民族は、あなたの基準／律法を示されても全然到達できない者です」と自分自身の罪と向き合って、ペッチャンコになってるんですね。

7 主よ。義はあなたにあります、顔をおおう恥は私たちにあります。今日あるとおり、それはユダの人々、エルサレムの住民にあり、また、近くであれ遠くであれ、あなたが追い散らされた先のあらゆる国々にいる、すべてのイスラエルにあります。彼らがあなたの信頼を裏切ったためです。

主／神を絶対的に正しい方として畏れている。

昔読んだんですが、タハラさんという弁護士は、中学時代にある教師にされた事が忘れられない。中学3年生の理科の授業で、副担任のA先生が教科書の天気図を指して、「タハラ君。この風はどちらからどちらに吹いていると思うか。」

タハラ君は前の年の自由研究で、自分なりの毎日の天気予報をやってるんですよ。だから、天気図の見方が分かる。「西から東に吹いている風です。」

「皆さん、彼の答えは合ってますか？間違いです。東から西です。」

冬の天気図って西高東低や。そんなん吹くわけないやん。間違ってるの先生やん。ものすごい不満があったけど、逆らったらあかんと思って、不満だったけど黙って着席した。

次の週の理科の時間の冒頭、A先生が「先週、東から西に吹くと言ったけど間違いです」と言った後、「君たちの中には、それが間違いだと気づいた者もいるだろう。」

なぜ指摘しないんだ。特にタハラ。おまえ分かっていただろう。なぜ訂正しないんだ！」こっぴどく叱られたんですよ。ちょっと待ってくれ。これはどう考えてもおかしい。「先週の授業で教えたことは間違いでした。すまなかった。」これやったら分かりますよ。だけど、間違いを指摘しなかったことを、正しかった彼がみんなの前でメチャクチャ叱られた。彼はやがて法学部で法律を教えるんです。今は弁護士ですけど。彼の授業方針は、どんなことがあっても、学生に責任をなすりつけないということだそうです。自分が悪いのに、なぜ相手にその非をおつかぶせることができたのか。自分は教師で上。相手の立場が弱かったからですよ。

時々、私たちは神にそれをするんじゃないかと思うんですよ。「神よ、あなたが愛なら、なんでこんな事があるんですか。」「あなたが全知全能なら、なんで地震を止められないんですか。」「あなたが何でも分かっているなら、なんで私の人生うまく行かないんですか。」ダニエルは自分たちが国を失い、捕虜として引っ張って行かれたことに対して、神を一切責めてません。それどころか、そうなったのは私たちのせいですと。

10 私たちは、私たちの神、主の御声に聞き従わず、しもべである預言者たちによって神が私たちに下さったみおしえにも、従って歩むことをしませんでした。

11 イスラエルはみな、あなたの律法を犯して離れ去り、御声に聞き従いませんでした。そのため、神のしもべモーセの律法に書かれているのろいの誓いが、私たちの上に降りかかりました。私たちが神の前に罪ある者であったからです。

モーセの律法の書の中に、祝福と呪いの選択をしなさいというところがあるんです。あなたがたが神を恐れて従うなら、あなたがたは祝福されます。あなたがたが反逆するなら、呪いがやって来ます。祝福を選びなさい。

でも、彼らはそうせずに神を捨てました。偶像に走りまわりました。

「その結果、あなたの契約に書いてあるとおりのことが起こったのです。私たちは悲惨な目に遭ったけど、あなたのせいでなく、不幸や罪や悪は人間から出たものです。あなたには非がありません」と神の前に恐れたのです。

自分を肯定し神を低く見たら、どんなに頭が良い人も、自分が罪人であることが見えなくなります。なぜ罪が分からないのか。「自分は悪くない。神がおかしい。」だから、人生に期待どおりのことが起こらないと、「けしからんじゃないか！」けしからんと思う態度の根底にあるのは、神を恐れず自分を義としていることです。これが罪の本質です。

6 私たちはまた、あなたのしもべである預言者たちが、御名によって私たちの王たち、首長たち、先祖たち、民衆すべてに語ったことばに、聞き従いませんでした。

神は、神を捨てたユダヤ人をほったらかしたのではなく、預言者たちを送ったんですよ。預言者を送り、ある時は奇跡を見せ、みことばを語って説得し、彼らの心を翻そうとしたんです。しかし、聞きませんでした。なぜ立ち返らなかったのか。

神がイスラエルを手放したというよりも、イスラエルが神を知りたいと思わなくなっていたから。

今度白いプリウスを買おうかなと思っている人は、道でやたらとプリウスを見つけるようになります。関心持ってるから。「あ、プリウス！これも、あれも、それも！」紫色のプリウスって、ほとんど見たことないでしょ。紫色のプリウス買うんやとなると、やっぱり見つけるようになるんですよ。

関心があると、ほとんどの人が見落としているものを見つける。だけど、知りたくないと思ったら、目の前に証拠を置かれても見えないんです。目の前に預言者が現れても、彼らは聞かなかった。神と、神との関係を遮断したかった。「もう要りません。あなたから離れます。」この罪を告白しているんです。

9 あわれみと赦しは、私たちの神、主にあります。まことに、私たちは神に逆らいました。

なぜ「私たちは神に逆らいました」と言えるのか。赦しが用意されていると信じているからです。放蕩息子が、なんでお父さんの元に帰ることができたんですか？お父さんは迎えてくれると信じているからです。

それほど酷いイスラエルだと自認・自覚しながら、なぜダニエルは祈る勇気を持っていたのか。神の前に、大胆ににじり寄ることができたのか。あわれみと赦しは神の側にある。赦しがあるので、悔い改めることができるんです。赦しがなかったら、悔い改めることもできません。赦しを知っていたので、彼はそこへ行くことができた。あわれみと赦し。神は砕かれた人に対して憐れみ深い方なんです。

10 私たちは、私たちの神、主の御声に聞き従わず、しもべである預言者たちによって神が私たちに下さったみおしえにも、従って歩むことをしませんでした。

ダニエルの悔い改めの長い祈り、日本語で読むと3分20秒かかります。ヘブライ語で読んでも3分くらい。長いですよ。自分の罪を告白しているその時、ダニエルは「私たちの罪」と語るんですね。「彼らの罪」「ユダヤ人の罪」「私以外のユダヤ人の罪」とは言わずに。私たちは主の御声に聞き従わなかった。

聖書を見ると、ダニエルは欠点が指摘されていない人物です。聖書は大抵、どんな偉大な人でも、ここはアカンかったということが書いてあるんですよ。アブラハムは自分の奥さんを妹と偽った、モーセは激情に任せて岩をガチンやった、ダビデは部下の妻と不倫した、エリヤは働きの真っ最中に働きを降りた。どんな偉大な人でも、ここでやらかした、失敗したということが指摘されている。

でもダニエル書1章から12章に、ダニエルのダメなところは書いてないんです。

ダニエルとヨセフくらいじゃないですか。これは、ダニエルに罪は無かったということじゃない。ダニエルもアダムの子孫だから罪人ですよ。
でも、ここに書いてあるような罪—主の御声に聞き従わないとか、律法を破るとか、預言者を拒絶するというようなあからさまな罪は、彼の生涯に無かった。
だから「私たちの罪」と言わなくていいんです。
なのに「私たちは、私たちの神、主の御声に聞き従わず」と、なぜ言ったのか。
ほんとにイスラエルを愛していたんですね。

私たちはだれかを愛するようになると、その人と一体化します。
その人の祝福が自分の祝福のように感じ、その人の成功が自分の成功のように感じ、その人のビジョンの実現が自分のビジョンの実現のように感じるんじゃないですか？自分が大事に大事に思っている人が不幸になっていく時、自分自身が不幸になっていくような気持ちになるのではないですか？一体化していくんですね。
ダニエルはイスラエルを愛し、イスラエルの代表者として、神に執り成しています。

そしてこれは、正真正銘罪が無いイエス・キリストのひな型になっているように思うんです。人となられた神 イエス・キリストは、全く罪が無い方です。
罪が無い方が十字架に掛かって、私たちのために執り成しをしてくださりました。
何の罪も無いのに、まるで自分の罪と言わんばかりに私たちと一体化して、神の前にいけにえとなってくださったのです。

この神の御子の十字架の死と、3日目のよみがえりを信じる人は、新しい契約の中に入ります。そして、新しい契約に基いた取り扱いを、人生の中で経験していくことができるかと約束されているのです。ぜひ、イエス・キリストを信じてください。

20 私がまだ語り、祈り、自分の罪と自分の民イスラエルの罪を告白し、私の神の聖なる山（エルサレム）のために、私の神、主の前に伏して願いをささげていたとき、

21 すなわち、私がまだ祈りの中で語っていたとき、私が初めに幻の中で見たあの人ガブリエルが、すばやく飛んで来て私に近づいた。それは夕方のささげ物を献げるころであった。

ダニエルは神の前に心を注ぎ出して祈った。70年まであと3年くらいしかない。3年経てばメシア的王国が現れる。それが祈りの動機ですが、その理解はダニエルの勘違いなんですね。メシア的王国が実現するのはまだまだ先のことで、70週の預言が全部実現した時に起こるということを教えるために、ガブリエルが素早く飛んで来た。天で彼の祈りを聞いていた神は、たまらなくなるんです。
誤解したままではなく、こんな人物にこそ未来の啓示を教えたい。ということで、70週の預言。これはすごい預言です。次回お話しします。続けてお聞きください。

☆*: .. 0 ..:* ☆*: .. 0 ..:* ☆*: .. 0 ..:* ☆*: .. 0 ..:* ☆*: .. 0 ..:* ☆*

引用文献；新日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017